

鶴見地域での新たな取り組み

地域 Ikigai さいき プロジェクト

～地域住民がいきがいを持って、安心して幸せに
住み続けられる街・浦・里の実現～

佐伯市では、豊かな自然資源を生かして安心して暮らせる地域をつくるため、令和2年度「佐伯市地域コミュニティ推進指針」を策定しました。
「新しい地域コミュニティ組織」の必要性について、令和4年度より第2期取組地域として鶴見地域で検討を行っていきます。

「地域コミュニティ」って？

より良い暮らしをするために活動する住民
同士のつながりや集まりのことを言います。
例えば、
区長会、消防団、PTA、こども会、高齢者
の会などもその一つです。

「鶴見」ってどうかわった？(10年前と)

	平成23年度	⇒	令和3年度
人口	3,559人		2,623人
高齢化率	39.8%		51.6%
出生	13人		6人
幼稚園児	27人		6人
小学生	135人		62人
中学生	78人		42人

「人口減少・少子高齢化」等によって

「人口減少・少子高齢化」と同時に
「生活様式・価値観の多様化」
により
**地域コミュニティの活動が少なくなってきたのではないでしょう
か。**

今後、地域コミュニティを維持することが
むずかしくなってくると予想されています。

「地域コミュニティ」が希薄になった？

- 地域の行事が開催できない。
- 行事の担い手が不足している。
- 区長などの役員のなり手がいない。
- 一人が何役もしていて、会議が多い
など

また地域で**組織をつくるの？**
今より大変になるのでは？

**今行っている活動を地域の皆さんで共有し、
課題の整理を行い、新たな負担にならないよ
うに皆で助け合うことができないかを話し合
っていきます。**



裏面、
これからの取組

これからの取り組み

令和
4
年度

ステップ1

まずは、地域について話そう

- ・若い人がいない。
- ・災害時、孤立するのが怖い。
- ・買い物に行くのに手段がない。

など

地域の困りごとや、こんなことができたら楽しいのに。といった色々なことを話すことから始めます。



第1期モデル地域 直川地域「話す会」

「話し合い」から始め、おおむね2年程度かけて進めていきます。

令和
5
年度

ステップ2

新たな地域コミュニティ組織を考える会

「ステップ1」で話した思いやニーズを正しく理解・共有し、課題解決に向けた実現方法を考えます。また、「地域コミュニティ」について、アンケート調査を実施し、幅広い意見を伺います。



第1期モデル地域 西上浦地域「考える会」

ステップ3

設立準備委員会

組織が必要となれば、正式に設立準備委員会を立ち上げます。

ステップ4

新たなコミュニティ組織誕生

【お問い合わせ】

佐伯市役所 地域振興部

コミュニティ創生課 住民自治推進係

電話：22-4059（直通）

鶴見振興局 地域振興・市民サービス係

電話：33-1111